

シンガポールでの石川県産品プロモーションについて

シンガポールにある日本料理店での石川フェアの開催について

シンガポール中心部のビジネス街にある日本料理店で、5月の1カ月間、石川県産の水産物や調味料を使った料理と地酒を提供する石川フェアを開催しました。2020年に新型コロナウイルス感染症による規制で店内飲食が不可能となった時は、持ち帰り弁当を購入するために幾度とお店に通い、山下オーナーや矢野シェフとコミュニケーションをとりながら、「コロナが明けたら石川フェアを開催し、飲食を盛り上げましょう」と話していました。それから約2年、ようやく10人以上の集まりが容認されるなどの大幅規制緩和があり、念願の石川フェアを開催する運びとなりました。

石川フェアでは、甘えび、メバル、たこ等の県産の水産品をはじめ、石川の醤油や味噌などの調味料を使った料理やお酒が提供され、また、店内には、観光ポスターを展示するとともに、訪れた顧客に観光パンフレットを配布し、訪日旅行を見込んで石川県の観光情報の発信も併せて行いました。

フェア初日からレストランは満席となる盛況ぶりであり、来店客からは、「石川県の特産である甘えびは、口の中で溶けてしまうほど甘くて美味しい。次回は、ぜひ石川県に訪れて料理を楽しみたい。」「料理に合わせて提供されたお酒は、メバルやたこなど水産物とマッチしており、石川の食文化の一端を堪能することが出来た。」などと高評価をいただきました。

また、矢野シェフからは、「石川の食材の品質が非常に高いため、複雑な味付けではなく、できるだけシンプルな味付けで、来店客には、素材の良さを存分に楽しんでもらいたい。料理を通じて、一人でも多くのシンガポール人に石川の食と食文化の魅力を伝えていきたい。」「これからも石川の美味しい食材を継続して使っていきたい」とコメントをいただき、山下オーナーからは「私たちもこの2年苦しかったが、日本側でも飲食関連の規制があり、石川県の企業も苦しかったと思う。微力ながら石川県産品の販売につながるよう協力していきたい」と熱い想いをいただきました。

フェア期間中に追加注文をいただいた商品もあり、今回のフェアをきっかけに継続して取り扱いいただける商品が一つでも増えるよう取り組みを進めて参りたいと考えています。



ぶりやタコなどの石川県産食材を使った料理と矢野シェフ

お花見ナイトでの日本酒フェアについて

シンガポールは国土が狭く、石川県の面積の約 1/6（シンガポールの西端から東端まで車で1時間弱の小さな島国）であり、また赤道直下であることから年中高温多湿で、もちろん四季もないことから、シンガポール人は四季折々の風景に憧れており、外国旅行志向が強いと言われております。また、JNTOの資料では、コロナ以前の2019年のシンガポールからの旅行先は、お隣マレーシアやインドネシア、タイなど東南アジア諸国に次いで、日本が人気の旅行地となっております※1、2022年2月28日に株式会社日本政策投資銀行、公益財団法人日本交通公社が発表した「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」によると、外国人が訪日旅行で体験したいこととして、1位の「自然や風景の見物」に次いで「桜の鑑賞」が2位となっており、日本及び桜について、非常に関心が高いことが伺えます。

こうした中、シンガポールのジャパン・レール・カフェを会場にして、お花見ナイトが開催されました。

桜で装飾された会場に設置された大型モニターには各地の桜の映像が放映されるとともに、新幹線をかたどったお弁当箱に入ったちらし寿司が提供された

ほか、石川県、秋田県、高知県の日本酒飲み比べが提供され、まるで日本のお花見の空間のようでした。

席は完全予約制ですぐ完売になりましたが、予約できなかったものの当日会場に足を運びお花見ナイトの様子を見学する方がいたほか、通りかかりの方が興味を持ち、当日参加できないか？と話しかけている様子も拝見し、桜の求心力の高さを実感しました。

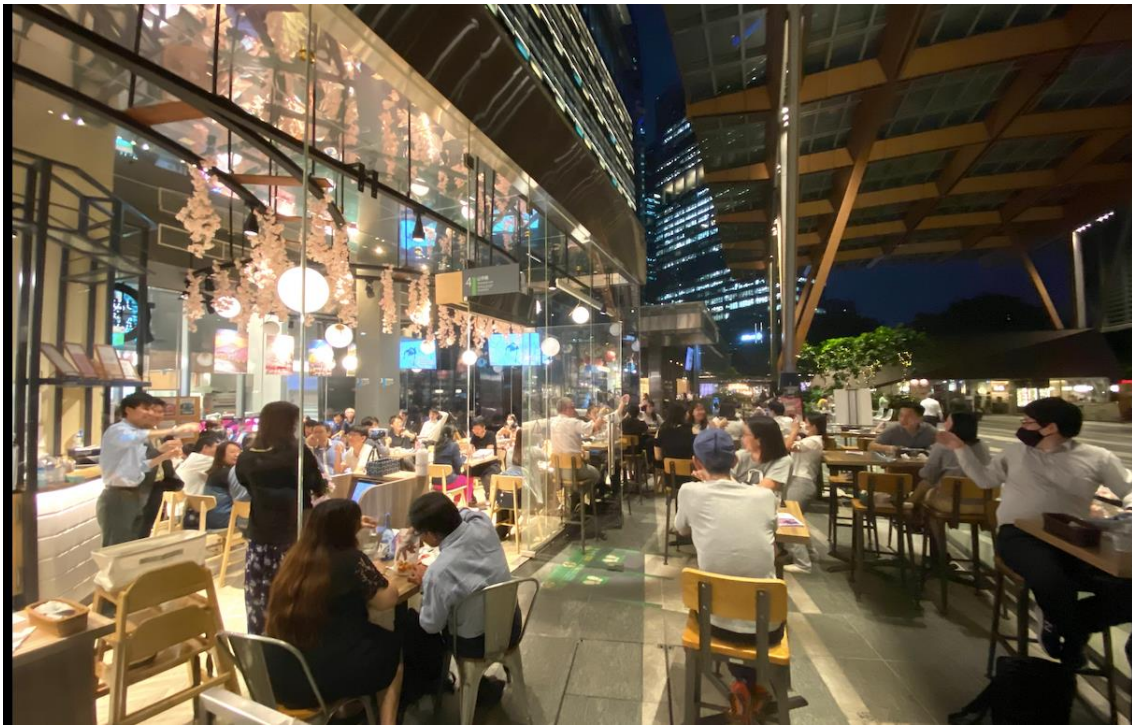
また、飲み比べをしている方々にどのお酒が一番美味しいか聞いたところ、石川県のお酒が一番人気が高かったことから、「渡航再開の暁には是非石川県に来ていただき、日本酒に合う日本海の新鮮な海の幸や伝統的な加賀料理など美味しい食べ物や四季折々の自然景観や温泉など、多彩な魅力を堪能していただきたい」と説明しました。

今後の渡航再開に向けて1人でも多くの方に石川に来ていただけるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

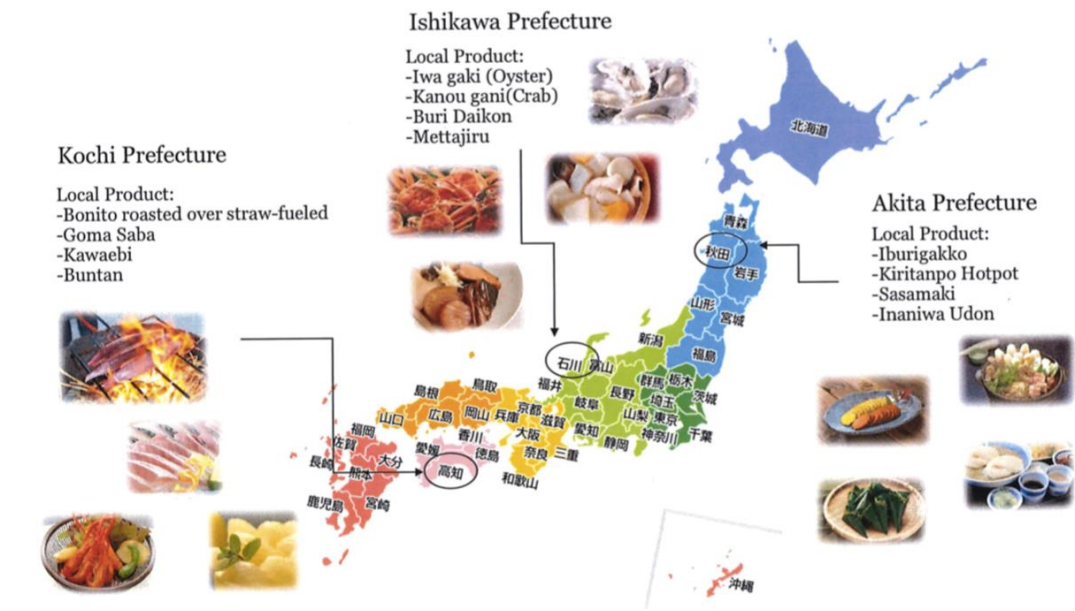
(※1 2019年の中国のデータは公表されていないため除く)



店内大型モニターで日本の桜を堪能する参加者



屋内だけでなく屋外の席も満席の様子



参加者に配付された各地の案内リーフレット（抜粋）